



SCB

# ニュース&トピックス

No.2025-167

(2026. 3. 27)

信金中央金庫 地域・中小企業研究所

研究員 森川 友理

03-5202-7671

s1000790@facetoface.ne.jp

## 大分みらい信用金庫の地域活性化・エンゲージメント向上策 「ASOBIプロジェクト」

### ポイント

- ▶ 大分みらい信用金庫は、若手職員のエンゲージメント向上策として、地域課題の解決策を立案・実施するプロジェクトチーム「ASOBI（あそび）プロジェクト」を2023年9月に組成した。
- ▶ プロジェクトメンバーは、チーム単位で地域活性化に寄与する企画を立案し、コンテストにてプレゼンを行い、最優秀賞となった企画を実現させた。
- ▶ 最優秀賞企画の朝市「湯〜ったりみら市」の開催にあたっては、新たに実行プロジェクトメンバーを募り、メンバーの若手職員たちは試行錯誤しながらイベントを作り上げた。
- ▶ プロジェクト始動から実際のイベント開催まで約2年にわたり長期的に取り組んだことにより、イベント自体の成功だけでなく、若手職員の自律性強化やエンゲージメント向上、職員間の絆の創出につながった。

### 1. 経緯

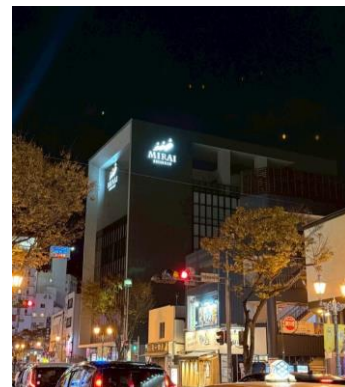
大分県別府市に本店を置く大分みらい信用金庫（図表1、2）は、若手職員のエンゲージメント向上策として、地域課題の解決策を立案・実施するプロジェクトチーム「ASOBIプロジェクト」を2023年9月に組成した。

2019年末からのコロナ禍の影響で、地域のイベントやお祭りは軒並み中止・延期となった。また、庫内研修はリモート開催となり、懇親会などの職員間の親睦を深めるイベントも少なくなっていた。その時期に入庫した若手職員は、同期や同店舗内での繋がりは作ることができたものの、縦の繋がりがや店舗をまたいだ交流の機会を持ちにくくなってしまっていた。そうした状況を踏まえ、同金庫は地域活性化への寄与、若手職員間の繋がりが強化によるエンゲージメント向上、プロジェクトを通じた主体性を持った自律型人材の育成を目的に、本施策の実施に至った。

（図表1）大分みらい信用金庫の概要（24年度末）

本店所在地	大分県別府市
創立年月日	1922年4月12日
預金残高	4,385億円
貸出金残高	2,156億円
店舗数	29店舗
役員数	367人

（図表2）別府のまちを照らす同金庫の新店



（備考）図表1・2ともに信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成・撮影

## 2. ASOBIプロジェクト

### (1) 概要

「ASOBIプロジェクト」は、①地域課題を発見し、解決策の立案・実施を通じて地域活性化に寄与する、②プロジェクトを通じてエンゲージメントの向上を図る、③主体性を持った自律型人材の育成を図る、の3つの目的の達成に向けて組成された、経営企画部を事務局とする庫内プロジェクトチームである。入庫5年目以内の若手職員を中心に構成され、地域活性化に寄与する企画を立案する。なお、同プロジェクトの活動は業務として扱い、残業代や振替休日を支給・付与する。

### (2) 第1期の活動内容

2023年9月に同プロジェクトを始動し、第1期の活動を開始した。メンバーは入庫5年目以内の若手職員を対象に公募し、24人の職員が参加した。

メンバーを1チーム6人の計4チームに分け、各チームで企画を立案し、コンテストで企画内容を競い、最優秀賞施策を実現させるという方式を採った。同金庫は、各チームに1名ずつサポーター（中堅職員）を配置したり、1チーム10万円の活動費を支給したりして、活動を支援した。

2024年5月、同金庫本店ホールにてコンテストを開催した。審査員を外部有識者に依頼し、プロジェクトに参加していない職員約150人も見学に訪れるなどして、会場は盛り上がりを見せた。各チームが地域の特性や課題を踏まえた施策をプレゼンし、別府で朝市を開く企画を提案したチームが最優秀賞となった。温泉地という土地柄、別府に朝の観光イベントがないことに着目し、朝市の開催により観光消費拡大と滞在時間の延長を図るという着眼点が評価された。

## 3. 最優秀賞企画「湯～ったりみら市」

### (1) 実行プロジェクトの活動内容

コンペ終了後の2024年12月、最優秀賞企画である「湯～ったりみら市」の実行プロジェクトメンバーを公募した。新しく参加したい職員が参画しやすいようにするため、改めて実行のためのプロジェクトチームを組成した形である。12人が手を挙げ、そのうちの10人が前述の「ASOBIプロジェクト」のメンバーであった。

2025年1月にプロジェクトを始動し、11月のイベント開催に向けて活動を行った。メンバーである若手職員たちは、企画の具体化、朝市に出店する飲食店探し、保健所などへの届け出、広報活動など、全てを一から検討し、経営企画部のサポートのもと一つひとつに自分たちで対応していった。イベント内で実施する体験コンテンツのために、餅つきやアロマディフューザー作りを習いに行くなど、地域文化との交流も図った。

### (2) イベント開催

2025年11月2日（日）8:00～13:00、「湯～ったりみら市」を同金庫本店駐車場にて開催した（図表3）。「みら市」は大分みらい信用金庫と朝市を組み合わせた造語で、企画名には「観光客や地域の方々に湯の町別府でゆったりとした朝を過ごしてもらいたい」という想いを込めた。

当日の運営にあたっては、実行プロジェクトのメンバーに加え、当日のみの応援スタッフを30歳以下の職員を対象に公募した。新入職員の半分以上が応募するなど、多数の職員の応募があった。

イベント当日は、会場近隣に宿泊していた観光客を中心に約400人が来場し、完売する品が出るなど盛況のうちに終了した。

(図表3) 「湯～ったりみら市」イベント概要

開催日時	2025年11月2日(日) 8:00~13:00
開催場所	大分みらい信用金庫 本店駐車場
主催	湯～ったりみら市実行委員会
後援	大分みらい信用金庫
コンセプト	『温泉×文化×食』の融合
ターゲット層	・観光客(朝到着、会場近隣の宿泊施設に宿泊中) ・地元の子ども連れ
広告宣伝	SNS・チラシ・ポスター(各観光施設に依頼し設置)
スタッフ	プロジェクトメンバー、応援スタッフ
設置ブース	① 朝ごはん店舗: サンドイッチ、タコス、カレーの3店舗 ② 体験ブース: 竹鈴作り、アロマディフューザー作り ③ 販売ブース: 地獄蒸し卵、お餅、ドリンク類 ④ お楽しみブース: 餅つき体験(無料配布あり) ⑤ インフォメーション: 別府市内の観光案内、抽選会

(備考) 同金庫提供資料より地域・中小企業研究所作成

## 4. 評価等

### (1) 評価

プロジェクトに参加した職員からは、『地域を盛り上げるという入庫時の想いを叶えることができた』『自分事として地域課題を考えるようになった』という声があった。プロジェクト始動から実際のイベント開催まで約2年にわたり長期的に取り組んだことにより、経営企画部や参加メンバーには相応の負荷がかかったものの、イベント自体の成功だけでなく、若手職員の自律性強化やエンゲージメント向上、職員間の絆の創出につながった。

### (2) 今後の計画

同金庫は、朝市「湯～ったりみら市」を別府のイベントとして定着させるため、定期的な開催を目指している。また、ASOBIプロジェクトも継続していく考えで、第2、第3期のプロジェクト実施を通じて、地域の活性化と職員の育成を促していく。

本レポートは発表時点における情報提供を目的としており、文章中の意見に関する部分は執筆者個人の見解となります。したがって、投資・施策実施等についてはご自身の判断をお願いします。また、レポート掲載資料は信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

## 関連レポートのご案内 金庫事例

このほかにも、  
信用金庫経営に関する様々な情報を発信していますので、  
当金庫 HP からご覧ください！

当研究所 HP トップ : <https://www.scbri.jp/>

関連レポートは  
こちら



No.	発行日	タイトル
2025-28	2025/6/6	しずおか焼津信用金庫の未来へつなぐ地場産業活性化策
2025-37	2025/7/9	諏訪信用金庫による「おてつたび」を活用した取引先の人手不足対応への貢献
2025-40	2025/7/25	玉島信用金庫の BtoC マッチングサービスによる終活支援
2025-58	2025/8/25	中兵庫信用金庫の「通信制大学卒業資格取得助成制度」
2025-84	2025/10/6	広島信用金庫の「店舗別周年記念運動」
2025-87	2025/10/24	館山信用金庫 天津小湊支店の移転出店
2025-92	2025/10/31	館山信用金庫の職員寮整備
2025-94	2025/11/13	信用金庫における生成 AI の活用- 信用金庫生成 AI 共同研究会「“GEN×しんきんラボ” supported by neoAI」-
2025-95	2025/11/13	秋田信用金庫におけるベテラン人材の活躍拡大策
2025-97	2025/12/1	秋田信用金庫の秋田県と連携した大学生向け金融教育講座の実施
2025-114	2026/1/23	東奥信用金庫の土手町創業・出店支援プロジェクト
2025-117	2026/1/26	富山信用金庫の営業店主導による預金キャンペーンの推進
2025-144	2026/3/3	富山信用金庫の人事制度改革